

第34号

GYODA CITY

スポーツ推進委員だより

- ・ 発刊：行田市スポーツ推進委員協議会
- ・ 発行者：広報部会長 堀田 勇次
- ・ 発刊日：平成28年3月吉日



市民の皆様には、日頃スポーツ推進委員協議会の活動に対しまして、ご理解と、ご協力を頂き心より感謝申し上げます。この度、「第34号 行田市スポーツ推進委員だより」を発刊することとなりました。

本号では、スポーツ推進委員が参加協力した事業の報告や自主企画活動の記録が満載となっております。

また、各地区で開催したスポーツ教室を掲載しております。誰でも気軽に参加できるように企画しておりますので、これからも一人でも多くの方々に参加して頂きたいと思っております。

私たちスポーツ推進委員は、ニュースポーツの紹介・企画運営など指導力の向上に努めてまいりますので、皆様方のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。

行田市ふれあい福祉健康まつり

広報部会 堀田 勇次

平成27年10月18日(日)、第20回ふれあい福祉健康まつりが産業文化会館南側芝生広場にて開催されました。

当日は、25の団体が参加しバザー・血管年齢測定・くすり相談等様々なイベントが実施されました。私達スポーツ推進委員は、握力・垂直とび・長座体前屈・肺活量の体力測定を行い、体力年齢を付け加えて結果をお伝えしました。約3時間の短い時間でしたが236人の方々が測定に來られました。

私は体力年齢の記入と実施結果を担当し参加者に体力年齢を説明すると、一喜一憂していました。日々生活の中で体力について色々な事を感じて、どんなことをしたらいいのか、身近な運動について質問される事がありました。

今後は、手軽にできるスポーツや運動を紹介することが必要と感じました。



第65回 行田市民体育祭

指導部会 阿部 久仁弘

平成27年10月25日(日)第65回行田市民体育祭が行田市総合公園自由広場において開催されました。一日中強風に悩まされ大幅に進行が遅れる大会となりました。

私は去年に引き続き用具係を担当し各競技に使う用具を素早く配置する事、競技中に次の競技に使う用具の準備、終了後は速やかに片付け次の競技の用具を設置することでした。

紅白玉入れでは綱が風にあおられないように底を固定したり、三種混合リレーでは、敷物が飛ばされないように、くいを打ち込んだりと想定外の作業が多々ありました。

選手も相当苦戦し波乱含みの体育祭で、いくつかの競技がカットされましたが、怪我をすることもなく無事終了しました。

第56回 東日本実業団対抗駅伝大会

指導部会 今村 勇

平成27年11月3日(土)、第56回東日本実業団対抗駅伝大会が行なわれ、私達はJR行田駅から吉里山交差点付近の沿道整理を担当しました。

前年の経験を生かし、規制前に障害物の整理、迂回掲示板の設置、風によるバリケードの横転対策を実施することで、車両の誘導をスムーズに対応することが出来ました。また、応援に駆け付けた人達を安全にコース付近まで誘導すること、駅利用の方が電車に乗り遅れ無い様に誘導することを心掛けました。今回、役員として参加しましたが、誘導板設置や事前告知をする事でより安全に誘導が出来ると思いました。この経験を活かしスポーツ推進委員としてさまざまな活動に生かして行きたいと思えます。

第17回 行田市障害者(児)スポーツ・レクリエーション大会

広報部会 赤坂 栄

平成27年11月14日(土)行田市総合体育館に於いて、障害者(児)の皆さんと、サポートするボランティアの方々で総勢293名が参加して、スポーツ・レクリエーション大会が開催されました。

この大会は健康増進と社会参加の促進を図ることを目的とするもので、ボッチャ・風船バレー・卓球バレーの3種のスポーツと輪投げやフロアカーリングなどのレクリエーションを、チームごとに

4ステージにわかれて、20分ずつ体験してもらい、一日楽しく交流を深めていただきました。



第59回 行田市駅伝競争大会

広報部会 柴田 隆明

平成27年12月6日(土)、浮き城のまち行田駅伝競争大会が行田市総合公園にて行われました。

当日は、気温も低く厳しいコンディションではありましたが、行田市内外の小学生から成人まで83チームが健脚を競う大会でした。

私たちスポーツ推進委員はコースの準備、選手の安全確保の為、沿道整理を主に担当しました。今年はコース変更、先導者に代わって走路観察が走者の誘導をし、選手に混乱の発生しないよう細心の注意を心がけました。

大会ではチーム全員の力で一本のタスキを繋ぐ感動を感じる事ができました。来年も盛大にまた、選手がより安心して競技することができるよう臨みたいと感じました。

新春ウォーキング

指導部会 青木 仁

平成28年1月10日(日) 寒くも無く晴天の下、鉄剣マラソン大会コース新春ウォーキングをスポーツ推進委員23名の参加で行いました。古代蓮の里をスタートし、変更になったコースの把握とコース内の問題点や危険個所の検証を目的に約3時間歩きました。実際にコースを歩き、改めて気づくことも多く、特に住宅街を通過する箇所、用水路脇を走る際の危険度の高さを感じ、事前に歩くことの重要性を実感しました。

ウォーキング終了後、コースの問題点や大会当日の注意点を意見交換し前回大会で発生した問題点など情報共有し、スポーツ推進委員として今大会へ臨む姿勢を確認しました。

今回の大会運営に向けて少しでも役立てられればと思います。また、当日の運営では本部と各現場が連携を密に臨機応変な対応が必要だと感じました。

第27回行田市なわとび大会

研修部会 小松 裕幸

平成28年1月23日(土) 第27回行田市なわとび大会が、小学生362名の参加と学童スポーツ団体連絡協議会の役員による競技進行のもと開催されました。

私は、司会と審判を担当、福島委員は準備体操と審判を担当しました。司会では、はつきり、ゆっくり、そして大きな声で話す事を心掛けしました。



競技結果は、女子2年生「うしろとび」で1670回という16年ぶりの記録更新、低学年「長縄1分間とび」では140回という7年ぶりの記録更新がありました。

記録更新に立ち会う緊張と、頑張る選手と保護者の熱い応援が繰り広げられる中、競技役員の私も熱くなってきました。スポーツ推進委員として自覚と自信をもって判定し、大会に参画する事が出来ました。

第83回埼玉県駅伝競走大会

指導部会 篠崎 貴枝子

平成28年2月7日(日)、第83回埼玉県駅伝競走大会が開催されました。

男子は新都心駅前、女子は鴻巣駅前をスタートし、ゴールの熊谷スポーツ文化公園陸上競技場を目指すコースです。私たちスポーツ推進委員19名はコース整理員として国道17号吉里山交差点付近の沿道整理を行いました。

前夜に降った雪のせいか例年より声援が少なく、車両や通行人への誘導はスムーズにできませんでした。また、急遽中継所から交差点まで男子ランナーの誘導をするなど想定外の事態への先輩推進委員の瞬時の判断や的確な対応は大変勉強になりました。



第2回行田ふれあいドッチビー大会

指導部会 新藤 雄作

平成28年2月20日(土)、行田市総合体育館にて第2回行田ふれあいドッチビー大会を開催しました。市内サッカー少年団、一般、地区体協、スポーツ推進委員チームを加えた全9チームにて競技を行いました。対戦は、3チーム毎の予選リーグと各予選リーグの順位別決勝リーグを行いました。当日はインフルエンザによる欠場チームもありましたが、スポーツ推進委員等が随時応援加入して全18試合を行いました。

この大会の一番の特徴は、老若男女のクラス分けが一切なく、大人と子供が真剣になって対戦するという、今時

珍しいスポーツです。低学年はまだまだ力の差がありました。高学年になるに連れ、大人チームを負かす試合も見受けられました。子供達も大いに泣いて笑って楽しい大会でした。

スポーツ推進委員自主研修

研修部会 須永 昌幸

平成28年2月20日(土)、スポーツ推進委員自主研修を実施しました。行田市総合体育館を研修会場にベースサルとスポーツ雪合戦の研修を行いました。ベースサルは室内で行うソフトボールをイメージした競技です。スポーツ雪合戦は、バスケットコートを使い2チームに別れて玉入れの玉を使って雪合戦をするスポーツで、機動力・俊敏さ・チームワークの必要性を求められる競技です。そんな中、汗だくになりながら真剣に楽しく3時間の実技研修を無事に終了する事が出来ました。更に2つのスポーツについて理解を深めることができました。その後、今期2年の活動に対して、写真で今期を振り返り、楽しかったことや大変だったことを語り合い自主研修を終えました。



